

第2回湖南省総合計画審議会

議事要約

日時：令和7年1月28日（火）
午後1時30分～
場所：湖南省役所3階大会議室

1. 開会

2. 会長挨拶（副会長挨拶）

●副会長

第2回湖南省総合計画審議会の開催にあたり一言挨拶申し上げます。

この審議会は、これからの10年間の取り組むべき総合的な施策を策定するための重要な場となっている。湖南省は昨年10月に市制20周年の節目を迎えたが、私自身、様々な立場で市政に関わりながら本日まで歩んできた。本日は、今後、計画の本文を作成していくための貴重な機会となっている。審議会委員の皆様には、忌憚のないご意見やご協議をお願いしたい。

3. 第三次湖南省総合計画および第三期総合戦略の策定について

●副会長

それでは、次第の「3. 第三次湖南省総合計画および第三期総合戦略の策定について」ということで、1) 第三次湖南省総合計画策定に関する市民意向調査について報告をお願いします。

●事務局

1) 第三次湖南省総合計画策定に関する市民意向調査について（資料1）

資料説明
（省略）

●副会長

ただいま、事務局から資料説明があった議題について、何か意見や質問はないか。

●委員A

湖南省は外国籍のかたが多く、市の人口の7%を占めているが、一般向けのアンケートに外国籍のかたが含まれているのか教えてほしい。

●事務局

一般の中に外国籍のかたも入っている。

●副会長

他に意見や質問はないか。

調査の結果をみて、何か質問が出てきたら地域創生推進課へお願いする。

承認いただけるかたは挙手をお願いしたい。

挙手多数

●副会長

第三次湖南省市総合計画策定に関する市民意向調査について承認が得られた。

続いて、2番目、第三次湖南省市総合計画ワークショップについて、事務局から説明をお願いする。

●事務局

2) 第三次湖南省市総合計画ワークショップについて（資料2）

資料説明

（省略）

●副会長

ただいま、事務局から資料説明があった議題について、何か意見や質問はないか。

●委員B

市内に住み続けたい人は自然が多い点を挙げており、課題については交通関係が挙げられている。運転手不足などでコミュニティバスは減少している。その点を考慮しながら、効率的に市民の満足度が上がる施策を取ってもらうことになると思う。行政の方で、市民と知恵を出し合いながら前に進めていただきたい。

●副会長

ワークショップを2回行っているところであるが、感想でもいいので何かないか。

●委員C

交通の話は、前回見直しの時もこういった意見が来ていると思う。今回、ライドシェアの件が出ているが、これはグループの中から出てきた話か。例えば、この話し合いの中に行政の担当部署のかたは入っているのか。

●事務局

担当部署の職員は入っていない。グループで話し合った中でアイデアをいただいている。

●委員C

他府県では自動運転の実証実験でバスを使っている事例もある。交通弱者である高齢者や低年齢層の方々は移動にかなり負担がかかっている。先進的な事例を取り入れることを検討いただくのもいいのではないかと考えている。マッチングの有無はあると思うので、必ずしも進められるものではないが、行政として補助金などの制度や整備も必要となってくる。実際に取り組んでいるところに行ってみるのも一つと考える。グループ5のオープンスペースの話で、集まる場所がなかなかないと書かれているが、私もそう思っている。22時頃まで学生が勉強しているスペースを設けている市町もある。同じところでサークル活動もされている。いろんなところで出会いの場がある。湖南市ではなかなか場所の選定が難しい。先ほどの交通の課題や中学生・高校生が自転車で通学できるのかどうか、電車通勤・通学のかたが使えるかどうかなど、様々な問題があると思うが、興味があるかたに向けてスペースや知識・情報を集約できれば、色々な広がりができると思う。

●事務局

交通については、運転手不足でバスの本数が減っている。ライドシェアは茨城県の自治体で実証実験に入っている事例がある。オープンスペースに関しては、庁舎整備のワークショップで、予約なしで使えるスペースが欲しいといったご意見もいただいている。これからの庁舎整備やまちづくりセンターの使い方など、皆さんの知恵を貸していただきながら進めていきたい。

●委員D

市民主体で活動しているところがある。水戸学区まちづくり協議会は、市から貸与された車を活用し、市民が運転手となって移動手段を確保している。市民の中でガソリン代をもらって活動されているかたもいる。役割分担をしながら、財政面など市として支えられるところをお願いしたい。オープンスペースについては、まちづくりセンターを活用した中学生の居場所づくりや地域の自治会館でのスペース活用など、市民のかたが知らないだけかもしれないので発信もしていく方がいいのではないか。

●事務局

まちづくり協議会の活動について紹介すると、水戸学区まちづくり協議会では、買い物の支援や病院への送迎を行っており、利用者のかたも多いと報告されている。

新たに菩提寺まちづくり協議会では、バスの本数減少により、行きはバスで行けるが帰りが無いということが起こっているのがボランティアの運転手を募集され、3名応募されたと聞いている。安全講習や3月の実証を経て、4月に本格稼働を予定されている。事業が進むよう、市の都市政策課や高齢福祉課、地域創生推進課が伴走していく。広報誌でも情報を発信していく。

●副会長

この審議会でのまとめとしまして、いただいたご意見から事務局にて今後の進め方や資料などに反映できる部分については対応いただくといった形で、承認いただけるかたは挙手をお願いしたい。

挙手多数

●副会長

第三次湖南省総合計画ワークショップについて承認が得られた。

●会長

交通機関の乱れで遅れてしまい申し訳ない。

ワークショップにも参加しており、市民のかた、特に中学生の発言は構造的で展望をきちんと描いていた。若い人たちにも期待に応える審議を行いたいと考えている。

3番目、「現状分析に基づく第三次湖南省総合計画の体系・骨子案について」と、それに関連した評価資料となる4)第二次湖南省総合計画後期計画(現行計画)の実施状況について(更新)、を一括して事務局より説明をお願いします。

●事務局

3)現状分析に基づく第三次湖南省総合計画の体系・骨子案について(資料3)

4)第二次湖南省総合計画後期計画(現行計画)の実施状況について(更新)(資料4)

資料説明

(省略)

●会長

骨子案にある湖南省の特徴や重要な政策テーマを中心に、キーワードになるようなことを活発にご意見いただきたい。総合戦略についてもご意見をいただければと思う。

●委員B

第三次総合計画を作る際には、第二次の評価を反映させるべきと考えている。特に▲の不十分なところは対応が必要。ベースは変わらないと思うが、まちづくりは市民憲章が中心にあり、湖南省はこのように発展していくということを計画に定めて施策を行っている。具体的に、第二次でできなかったことを第三次で活かしていく方向で考えてほしい。

●会長

▲のところをどうしていくのかは、検証の重要なポイントになる。先ほど事務局から説明があったが、施策の進捗はよいが満足度や認知度につながっていない場合、政策としては何か不十分な要素があったと考えられる。現行の実施計画についても丁寧なフォローが必要になる。

●委員E

昨日、甲賀市・湖南省の地域別懇談会に出席した。出席者から湖南省の交通インフラ、特に国道1号においては湖南省に入った途端に道が混むという意見があった。公共交通の充実の目標指標がコミュニティバス乗客数となっているが、外向きの地域と連携した目標にしてはどうか。新たな総合計画はそういったところにまで踏み込んだ形にすべきではないか。ハード整備

にも力を入れてほしい。お客さんが会社に来るのに、駅前に買い物や食事をとるところがないので困っている。最近、草津駅でレンタカーを借りてお越しになっている。駅前の整備、何かが建つような整備をしていかなければならない。

●事務局

草津線のダイヤが1時間に1本になっている。市長は「企業誘致は大事である」と言っている。社会のインフラ整備、国道1号についても国の方に要望しているところ。滋賀県の産業誘致の団地が3つ決まったと発表していたが、湖南市も企業誘致を努めるとともに、栗東市境の物流施設など、湖南市のポテンシャルを総合計画に反映していきたい。

●会長

アンケートの自由意見を見ていると、国道1号がなんとかならないのか、ハードのサービスが見劣りする、公共交通をキーワードに書かれているかたが多いのが目立つ。道路を拡幅することで、店舗が増えるかという、簡単には実現できない。国や県の後押しがないといけない事業もあるが、湖南市の背骨の交通の部分が議論できないと、工業や商業の後押しもできないと感じたので、重要な政策テーマの背景として訴える計画にしていければと思う。

他に何か質問や提案はないか。

●委員 E

アンケートの評価で、工業の振興について、基準値に比べて実績値が減っている。出荷額は甲賀市が一番で、次に湖南市なので、そういった点を伸ばすために先ほど申し上げた道路（国道1号）の交通問題の解決、物流が増えれば草津栗東間の道路問題も出てくるかと思う。物流の倉庫が建っていくだけではないような形で進めていただきたい。

●会長

他に何か質問や提案はないか。

●委員 C

湖南市の特徴は県内や近隣市町と比較した特徴なのか、市の中での特徴なのか。

●事務局

自然豊かな広域交流のまちについては、栗東湖南 IC が近いのも一つの特徴であり、歴史・伝統文化が豊かなまちは近隣市町より昔の建物が多い。また、多文化共生のまちでは県内で人口に対する割合が最も高い。県内最大の湖南工業団地がある。昭和40年代から近江学園ができ、発達支援システムに取り組んでいる。脱炭素に取り組むまちは県内で唯一こなんウルトラパワーの取組を行い、脱炭素先行地域に指定されている。早くから地域まちづくり協議会を設立し、自分たちのまちは自分たちでつくるということで取り組んでいただいている。

●委員 C

比較対象は特に決めていないということによろしいか。

●事務局

脱炭素に取り組むのは周辺でも唯一であり、脱炭素先行地域にも選定されている。福祉のま
ちも湖南省の特徴だと考えている。

●委員 C

なぜお聞きしたかと言うと、他の市町も同じように総合計画を作っていると思うが、湖南省
としてこの方向性で力を入れていくのを絞っていくのも一つではないかと思っている。特色を
出すことで定住移住や社会施策、国や県の補助金を活用していく第一歩となると思うので、特
徴を比較しておいた方がより特徴を際立たせることができると思われる。全てを比較すればい
いという話ではないかもしれないが、強い特徴を絞っていくとよいのではないか。弱いところ
を明確化し、進んでいく方向性を決めるのも必要と思われる。

●会長

他に何か質問はないか。

意見を色々出していただいた中で、3) 現状分析に基づく第三次湖南省総合計画の体系・骨
子案については、道路などのハードウェア、私たちの生活を支えるインフラをもっと強化され
るべきであることや湖南省の特徴をアピールしていく意見があった。4) 第二次湖南省総合計
画後期計画（現行計画）の実施状況では、▲の評価については、私たちが何を検証しないと
いけないかを意味づけた言い方で、第三次総合計画に実施・方針に反映することを約束する形に
していくということで、3) 現状分析に基づく第三次湖南省総合計画の体系・骨子案について
承認いただけるかたは挙手をお願いしたい。

挙手多数

第二次湖南省総合計画後期計画（現行計画）の実施状況について、▲の評価や工業振興の内
容分析をし、それを踏まえた進捗管理ができればよいという意見もあった。今回の4) 第二
次湖南省総合計画後期計画（現行計画）の実施状況について（更新）について、承認いただけ
るかたは挙手をお願いしたい。

挙手多数

それでは次の「4. その他」ということで、事務局からお願いします。

4. その他

●事務局

次回の審議会は、令和7年度に予定している。詳細は内容が決定次第、皆さんに連絡する。

●会長

次回までにワークショップも引き続き開催されているので、今日の意見やワークショップに

参加した市民のかたと交流を深め、意見を持ち帰りたいと考えている。

他に何かあるか。よろしいか。

それでは審議会としての本日の議題については全て終了とし、事務局に進行をお返しする。

●事務局

副会長、会長、議事を進行いただき感謝申し上げます。

それでは閉会にあたり、副会長に挨拶をお願いします。

5. 閉会

●副会長

本日は大変お忙しい中、また貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。いずれにしても計画は大事である。PDCAサイクルを回して、住みよい、皆さんがこのまちがにぎわうようなまちづくりにつながるよう、審議会の皆さんの知恵を絞りながら進めていきたい。

本日は、感謝申し上げます。

●事務局

副会長感謝申し上げます。これをもって、第2回の審議会を終了する。

以上